

## 1-2 経営体の育成～経営発展支援, 農業法人等大規模経営体の育成～

### 成果の要約

- 1 モデル経営体の育成：支援対象 47 戸に対し経営・技術分析等を実施し、課題解決に向け支援を行った。また、農業簿記研修会を実施し新規の簿記記帳者が 6 人増えた。
- 2 新たな女性リーダーの育成に向けて候補者の掘り起こしを行い、女性農業経営士 1 名の認定につながった。
- 3 農業経営の法人化や経営継承を検討している 4 戸の農家を対象に専門家と連携し支援を行い、施設園芸 1 戸が法人設立に至った。

### 1 対象

- (1) モデル経営体の育成支援対象 47 戸  
(法人 13, 担い手 22, 青年 8 人, 集落営農 4)
- (2) 複式簿記研修参加者等 75 戸
- (3) 法人志向農家 45 戸

回開催した。



写真1 さつまいも農家の経営改善支援

### 2 課題を取り上げた理由

- (1) 農業者が自ら掲げる目標の達成と経営確立するためには、経営・技術診断をふまえた上で経営改善支援を行う必要がある。
- (2) 担い手数が減少する中、関係機関・団体との連携を強化し、認定新規就農者等の定着支援を図り、さらに認定農業者へ移行し、担い手を確保する必要がある。
- (3) 経営の継続性や雇用の安定化を図るため、法人化を目指す農家が増えつつあり、継承、税務・財務管理、労務管理等を含めて法人化に向けた支援が必要である。



写真2 クルクマ農家の経営改善支援

### 3 活動の内容及び成果

- (1) 経営体の育成・経営発展支援  
ア モデル経営体の育成  
支援対象農家 47 戸に対して経営診断や技術診断を実施し、課題解決や経営目標の達成に向けた支援を行った。(令和 3 年～令和 5 年)
- (2) 担い手の経営発展支援  
ア 複式簿記習得支援  
基礎研修を 3 回シリーズで行い、6 名の農家が複式簿記記帳を開始した。  
記帳研修を管内 5 会場において延べ 25

また、令和 5 年 10 月に始まる消費税インボイス制度については、「南薩地区農業経営セミナー」を開催し、制度概要の周知を図った。



写真3 消費税インボイス制度研修会

イ 経営確立に向けた経営計画作成支援  
前年度の調査研究で、認定新規就農者から認定農業者への移行が円滑にっていないことが判明したため、市担い手協議会及び指導農業士会と連携し現地指導を行った。  
1名の新規就農者が認定農業者に移行することとなった。



写真4 指導農業士による現地指導

ウ 女性リーダーの育成支援  
新たな女性リーダーを育成するため、助農業経営士や関係機関から推薦のあった女性農業者を巡回し、候補者の掘り起こし、研修参加の誘導を行った。  
今年度、1名の女性農業経営士が認定された。

(3) 法人化及び経営継承に向けた個別支援  
「かごしま農業経営・就農支援センター（以下、センター）」を活用した専門家派遣を通じて、法人化や経営継承など各経営体の実情に応じた個別支援を行った。（施設野菜1戸、茶1戸、露地野菜1戸、施設花き



写真5 法人設立（施設野菜）検討

1戸、集落営農1組織）うち施設野菜農家は法人設立に至った。  
また、担い手の高齢化に伴い、経営継承の問題が表面化してきている。法人化と同様センター及び県酪農業協同組合と連携し、酪農家に対して円滑な経営継承支援と経営改善指導を行った。



#### 4 今後の課題

- (1) 地域農業を支える多様な担い手（認定新規就農者、認定農業者、農業法人、集落営農組織等）の支援策について市担い手協議会との情報共有としくみづくりが必要である。
- (2) 法人化を進めるにあたっては、継承、税務・財務管理、労務管理等の課題が包含されるため一体的な経営基盤強化が必要である。

#### 5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇和田、福山、中、前田、橋口、岩崎、森、田端、矢野、仁田尾、八丸、（島田）